

平成27年度 生徒会活動について

1. 指導方針

- (1) 生徒会活動の充実を図り、継続・発展性があるような活動を行えるよう指導にあたる。
- (2) 生徒の自発的・自治的活動が展開できるよう指導にあたる。
- (3) 諸活動をさらに活発にし、心身ともに調和の取れた生徒を育成するために積極的な参加を促すと共に、職員も積極的に指導にあたる。

2. 活動方針

- (1) 自治的な生徒会活動を目指し、計画・実行・反省の3ステップを大切にする。
- (2) 昨年度までの活動を生かしながら、選挙公約を中心に取り組んでいく。
- (3) 生徒会活動が一人ひとりのものになるように、活動の意義・内容を全校に浸透させる。

3. 具体的取り組み・本部役員

生徒会スローガン「LINK 243人の繋がり」
～新たな伝説のはじまり～

LINKには「繋がる」という意味があります。今年度の生徒会活動を通して、先輩・後輩・学級・学年・全校生徒243人全員が様々な所で関わり合い、繋がりを大切にして学園祭や部活動、委員会活動や学校行事を成功させていきたいという願いを込めました。生徒会本部が学年・学級とLink(連携)様々な活動を考案し、この高根中学校を素晴らしい学校にしていきたいと思います。

また、今年度の柱の1つに”他学年交流”があります。学年の枠を越えて合唱や体育部門等で先輩と後輩が関わり合える場面を多く設けていきたいです。昨年度以上に今年の生徒会が一丸となり、新しい活動を活発に行っていき、今年度の高根中学校が伝説の代となるよう願いを込めて、サブタイトルには「新たな伝説のはじまり」としました。伝説を残すためには、これまで以上に生徒会活動が活発に行われ、多くの成果が目に見えなければなりません。また、どの活動においても全校生徒が気持ちを合わせなければいけないと思います。

H27年度高根中学校生徒会全員の気持ちをLinkさせ、各組織（本部・学年・学級・委員会・部活）をLinkさせ、その成果が「来年度に繋がる伝説」となるよう、このスローガンのもと1年間様々な生徒会活動を行っていきましょう。今の高根中学校なら絶対にできると僕達生徒会本部は信じています。

4. 生徒会の組織

- ・生徒総会………5月・7月・12月に定期総会
- ・評議委員会………本部役員、学級正副会長（男女各1名）、常任委員長による。月1回行う。
(体育・文化正副局長は必要に応じて出席)
- ・常任委員会………各学級から選出し、全員所属する。（原則男女各1名以上）
- ・特別委員会………応援委員会（原則男女各1名）、選挙管理委員会（男女各1名）
校則検討委員会（本部役員、前期学級評議員男女各1名、生活安全委員長）
- ・部長会………各部の部長による
(体育局長1名・副局长2名、文化局長1名・副局长2名)
- ・地区生徒会………各地区生徒による（正副会長各1名選出）
- ・緑の少年隊………生徒会本部役員、夏休みに活動

5. 常任委員会

集 会	担当	集会場所	活動内容
集 会	小池	調理室	・集会の準備、片付け　・集会の整列
環境美化	坂本充 新海	2 - 3	・大掃除の時の洗剤補充、配布　・清掃用具点検 ・北風小僧の美化活動の企画、運営　・ポスター貼り ・紙の分別　・ポスター作成　・消灯等確認　・金魚の世話
放 送	熊田	3 - 3	・清掃の放送　・集会の放送準備、片付け ・行事の放送準備、片付け　・音響・スポット
給 食	横内	被服室	・一口メモの紹介　・服装チェック　・台布巾の回収・洗濯　・配膳台の掃除　・ポスター貼り
園 芸	坂本慶	3 - 2	・花の管理　・花植え　・草取り　・農園
生活安全	渡邊	2 - 1	・自転車点検　・あいさつ運動　・制服点検
体 育	坂本強 清水	2 - 2	・体育倉庫の清掃　・授業の準備体操　・校内陸上競技大会の企画・運営　・学園祭体育の部の企画・運営
保 健	三井	会議室	・健康観察簿を教室へ持つて行く　・石鹼補充 ・加湿器の管理　・健康生活に必要な呼びかけなど
図 書	白倉・河野	図書室	・本の貸出・返却　・卒業制作　・カウンター当番　・図書だよりの発行　・読書週間の取り組み　・書架整理など
編 集	小林	パソコン室	・生徒会新聞「志らかば」の原稿依頼・打ち込み・発行
合 唱	広瀬・仲田	音楽室	・行事に向けての合唱練習の計画・運営　・合唱祭の運営
福 祉	進藤	1 - 3	・書き損じハガキ回収　・歳末助け合い運動　・各種募金 ・キッズひまわりなどのボランティア募集・参加など

6. 特別委員会

委員会	生徒構成	担当	活動内容
応 援	原則男女各1名	各学年生徒会担当 (保坂・清水・仲田)	壮行会での応援
選挙管理	クラス男女各1名	2学年主任 (補助: 1学年主任)	立会演説会・投開票の運営
校則検討	生徒会本部役員 前期学級評議委員 生活安全委員長	各学年生徒会担当	必要に応じて校則を検討

7. 委員会所属人数 ※別紙参照

- ・代理委員長は、なるべく継続して同じ委員会に入る。
- ・体育委員会や合唱委員を選ぶ際には行動力のある生徒が選出されることが望ましい
- ・応援・選挙管理委員は、常任委員会とは別に決める。応援委員は、原則男女各1名。選挙管理委員は男女各1名。

8. 緑の少年隊

高根町では県政の基本理念である「環境首都・山梨」の実現を目指して、町をあげて緑化推進を強力に進めている。この緑化推進事業の一つとして、町に、中学生を対象として、16名編成の森林愛護隊が昭和46年1月に結成され、以来、休祭日または長期休業中に、奉仕の理念を持って次のような活動を活発に展開し、我が郷土の緑化運動推進のために貢献してきている。

- (1) 地区内をパトロールし、森林愛護思想の普及と実践を図る。
- (2) 森林ポスター・標語の募集と配布をする。
- (3) 森林樹林に名前を付けたり、自然科学コースの研究をしたりする。
- (4) 観光地の美化清掃などの奉仕作業を行う。
- (5) 隊員の規律訓練の実施。

隊員は、生徒会本部とボランティアの生徒で構成する。（隊長/会長、副隊長/副会長、隊員/事務局とボランティア）

9. 年間活動計画

月	項目	目的・活動内容
4	新入生オリエンテーション 地区生徒会 委員会・部会 学年生徒会	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会の組織や活動を理解し、生徒会活動への関心を高める。 ・地区生徒会の組織作り、活動計画の作成 ・委員会・部の組織作り、活動計画の作成 ・学年スローガン等の話し合い
5	第1回生徒総会 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会のスローガン・活動内容等についての話し合い
6	支部総体壮行会 委員会 学園祭の企画	<ul style="list-style-type: none"> ・選手の自覚を高めると共に、連帯感を深め部活動への意欲の向上を図る。 ・学園祭へ向けての計画づくり
7	委員会・部会 地区生徒会 第2回生徒総会 学園祭準備 学年集会	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動の反省 ・1学期の反省、夏休みの地区行事の計画づくり ・1学期の活動の反省、学園祭についての話し合い ・夏休み中と2学期の活動予定の確認 ・1学期の反省
8	学園祭準備・練習 ふるさと祭り	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会での準備、学級・学年の練習 ・太鼓愛好会の出演
9	学園祭 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の学習の総合的発表の場として、生徒一人ひとりの手で学園祭を作り上げることで、自主性・創造性を高める機会とする。
10	支部新人戦壮行会 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学校代表の自覚を高めると共に、連帯感を深め部活動への意欲の向上を図る。
11	合唱祭 北風小僧の美化活動 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の歌声活動を発表し、より一層学級の団結を深め、学校全体の交流を図る。 ・美化委員会の企画で、中学校周辺の清掃活動をグループごとに行う。
12	生徒会役員選挙 委員会・部会 第3回生徒総会 地区生徒会 学年集会 生徒会本部の引き継ぎ	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい選挙のあり方を理解し、生徒会を自主運営していくとする心構えを持つ。 ・2学期の活動の反省 ・2学期の活動や学園祭の反省についての話し合い ・2学期の反省、冬休みの地区行事の計画づくり ・2学期の反省
1	委員会 3年生に贈る会準備	<ul style="list-style-type: none"> ・3学期の活動内容の確認、代理委員長の決定 ・実行委員会での準備、学年の練習
2	3年生に贈る会 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生の努力を讃えると共に、今後の生徒会を受け継いでいく自覚を持つ。
3	委員会 学年集会	<ul style="list-style-type: none"> ・1～3月の活動の反省 ・3学期の反省